



コロンビアの外国直接投資展望

Vale Columbia Center に於ける持続可能な国際投資

現代的な外国直接投資問題視点

No. 81 2012年10月22日

編集長: Karl P. Sauvant (Karl.Sauvant@law.columbia.edu)

編集部部长: Jennifer Reimer (jreimer01@gmail.com)

翻訳者: Michelle Konov (michellekonov@gmail.com),

Lloyd Gronkowski (lgronkowski@gmail.com)

中国の石油への対外投資は世界の安全保障の問題ですか？

Ilan Alon & Aleh Cherp*

中国の対外直接投資（OFDI）の相当する増加を促す動機は、特に国有企業（SOE）のエネルギーと天然資源に於ける OFDI が必ずしも明確ではありません。まず、横並びではないかもしれませんが、商業と政府との利益は一緒です。西洋の記載されている中国の SOE は世界企業市民活動の風評リスクに心配する間に、政府の利害関係者が外交的な国際関係に焦点するかもしれません。更に、石油への投資する為の補助金は出資国の国家安全保障に脅かして、中国の国益に従うことを見られるかもしれません。中国の OFDI は世界のエネルギー安全保障が有益か有害か、経済発展と外交関係との関係をまだ争われています。

中国は石油供給の安全保障について気にしています。1950年代に新設な中華人民共和国は石油に関して、ソ連に頼りにしました。1960年代の中ソ分裂は重要な石油不足を引き起こされて、中国軍を危うくしました。ダーチンの1963年を開始された油田生産は中国を石油輸入に一時的な独立性が到来を告げました。しかし、ダーチン枯渇と国内消費の上昇によって、中国は1993年に順石油輸入国ようになったし、前の不安

* Ilan Alon (IALON@rollins.edu) は Cornell の国際ビジネスの会長で Rollins College の中国センターの所長で Harvard Kennedy School に同輩と客員の学者です。Aleh Cherp (cherpa@ceu.hu) は Central European University (ブダペスト) の教示で、世界的なエネルギー査定のコディネーターとリード筆者（エネルギー安全保障）です。著者は査読する為 Deborah Brautigam と匿名の校閲に感謝しています。この記事で紹介した意見がコロンビアと関係団体の意見と同じないかもしれません。「コロンビア外国直接投資展望」(ISSN 2158-3579) は査読し出版します。

が戻って、中国の「中国人を適正価格に堅実で適切な石油供給を提供します¹」国家目標の触媒になりました。

中国の3つ目的（適正価格、頼りがい、充足）は石油による OFDI に連結します²。まず、そのような投資は市場に石油の流れを増加させることによって、石油生産の充足に貢献します。ついで、特に危機発生時の場合、国有資産（タンカー船体とか³）国内の石油需要の為に割り振れ、国営石油会社の供給の方が外国調達供給より頼りがいそうです。しかし、国有は自然災害や産出国に政治不安やテロ攻撃やマラッカ海峡に軍事介入が守れません。最後に、投資助成金は長期的に持続して、投資が市場の変動を守れば、安定した予測可能な価格を提供することができるかもしれません。

故に、中国の外国石油資産の投資は国家のエネルギー安全保障の目標に連結されています。最近の9つ国営石油会社の調査⁴で、対外石油投資の一番効果的な動機の中には政府の激励と資源安全保障が驚きではありません。ただし、このような投資は他の国には安全保障の脅威ですか？

その懸念を後援する賛成論が2つあり：①希少な石油資源をめぐる争いは米国と中国の中に対決を巻き起こすことが主張されている、そして、②石油資産を守る為に、中国は軍事力を行使することがあると主張されている、例えば、外洋海軍がタンカー船体を守る為に開発するとか、係争の諸島やエネルギー開発可能性を持っている地域に請求を主張することです。談話の2つは頻繁に挑戦されています⁵。例に、海外の中国 SOE によって生産された石油は世界市場に売られるから、中国だけではなくて、すべての消費者に有益です。それで、中国の対外エネルギーの投資は世界のエネルギー安全保障上の懸念も対処する：国際エネルギー機関（IEA）がよく強調した投資の不足ということです⁶。更に、他の国も中国の海上輸送路と難所との脆弱について懸念しているから、中国の交易路を守って多様化する尽力は良いことだと考えるはずです。

¹ Guy C.K. Leung 「中国のエネルギー安全保障：現実と知覚」 エネルギー政策、39 巻（3 月 2011 年）1332 頁

² 同書

³ ZhongXiang Zhang 「中国のエネルギー安全保障、マラッカの問題と応答」 エネルギー政策、39 巻（12 月 2011 年）7612 – 7615 頁

⁴ Euromed, Shanghai と共同で中国の SOE を国際の実態になることについて未発表の調査；2011 年の夏にデータが収集されました。

⁵ Leung, op. cit

⁶ 国際エネルギー機関、世界エネルギー展望 2011 年（パリ：OECD/IEA 2011 年）

しかし、中国の石油への増加している OFDI について、慎重になる理由があります。究極的に、因習的な石油は温室効果ガス生成する非再生の資源です。石油探査と抽出に資金を提供することで、中国は温室効果ガス排出の補助金で、大体エネルギー技術の必要投資から資源を転用します。更に、石油資源を所有している国に投資すれば、西洋が芳しくなくて、思料される政権を守るかもしれません。

石油の対外投資は中国のエネルギー安全保障を強化する戦略のひとつだけではありません。再生の資源の国内投資は 2010 年に USD500 億に増加と比べると⁷、化石燃料への補助金が 2008 年に USD40 億⁸や石油へ OFDI が 2009 年に USD18 億⁹でした。弱く支配されて石油資源が豊富な国を安定になって、世界貿易体制に統合するのは、中国に有益はらずです。うちに、IEA のような欧州と米国との利益によって影響させる世界的なエネルギー機関は国際協力と権力で公平な分配の為に、中国を積極的に関与させた方がいいです。

記事の中身を翻刻場合、以下を含まれる条件: “Ilan Alon と Aleh Cherp 「中国の石油への対外投資は世界の安全保障の問題ですか?」 コロンビア外国直接投資展望、No.81 2012 年、10 月、22 日。翻刻する為、Vale Columbia Center に於ける持続可能な国際投資から許可が必要です(www.vcc.columbia.edu)” コピーも Vale Columbia Center に送って下さい(vcc@law.columbia.edu)。

提出する情報を含む詳細について、連絡してください: Vale Columbia Center に於ける持続可能な国際投資、Jennifer Reimer, jreimer01@gmail.com 乃至 jreimer@lyhplaw.com。

Lisa Sachs の管理した Vale Columbia Center に於ける持続可能な国際投資 (VCC –www.vcc.columbia.edu) は Columbia 法科大学院と Columbia 大学の地球研究所の合弁です。世界経済の外国直接投資に関連する問題の先駆けを求める為に、VCC の焦点は国際投資法や公共政策の外国直接投資含意の分析と指導です。

最新の外国直接投資展望

- No. 80, Jo En Low, “State-controlled entities as ‘investors’ under international investment agreements,” Columbia FDI Perspectives, October 8, 2012.
- No. 79, Lise Johnson, “Absent from the discussion: The other half of investment promotion,” Columbia FDI Perspectives, September 24, 2012.
- No. 78, Elizabeth Broomfield, “Reconciling IMF rules and international investment agreements: An innovative derogation for capital controls,” Columbia FDI Perspectives, September 10, 2012.
- No. 77, Sandy Walker, “A new economic nationalism? Lessons from the PotashCorp decision in Canada,” Columbia FDI Perspectives, August 27, 2012.

⁷ 21 世紀の再生可能エネルギー政策ネットワーク、再生 2011 年: 世界状況報告 (パリ REN21、2011 年) 35 頁

⁸ 国際エネルギー機関、2010 年の世界エネルギー展望 (パリ: OECD/IEA 2010 年)

⁹ Julie Jang と Jonathan Sinton 「中国の国営石油会社の対外投資・効果と駆動力を評価する」 IEA 報告、2011 年 2 月

- No. 76, Perrine Toledano and Julien Topal, “A good business reason to support mandatory transparency in extractive industries,” Columbia FDI Perspectives, August 13, 2012.
- No. 75, Alex Berger et al., “Attracting FDI through BITs and RTAs: Does treaty content matter?,” Columbia FDI Perspectives, July 30, 2012.
- No. 74, M Sornarajah, “Starting anew in international investment law,” July 16, 2012.
- No. 73, Lorenzo Cotula, “Law at two speeds: Legal frameworks regulating foreign investment in the global South,” June 29, 2012.
- No. 72, Torfinn Harding and Beata Javorcik, “Roll out the red carpet and they will come: Investment promotion and FDI inflows,” June 18, 2012.
- No. 71, Thomas Jost, “Much ado about nothing? State-controlled entities and the change in German investment law,” June 4, 2012.

以前のすべて「外国直接投資展望」は <http://www.vcc.columbia.edu/content/fdi-perspectives> に見つけられる。